

平成31年新年号

鹿農（可能）進路 だよい

～無限の可能性（鹿農生）～ 鹿本農業高校進路指導部

進路ガイダンス特集



12月19日進路ガイダンスを実施しました。3学年はビジネスマナー研修（進学・就職）、1・2学年は21の仕事に分かれ職業理解に努めました。

国立大学 合格体験記

島根大学 合格体験記 鹿本中学校出身 松永 風音

Q1 なぜ島根大学を志願しましたか

1番の決めては「農薬分解菌」についての研究です。島根大学には農薬を分解する微生物、農薬分解菌を専門に研究されている研究室があり遺伝生態学や植物病理学などの様々な観点から奥深く研究が行われています。今後これらの菌の研究が進みうまく活用されていけば環境浄化などにも役立てることができるのではないかと考えられていることから、農薬分解菌の可能性を感じ、この研究に携わりたいと思い島根大学を志望しました。

Q2 どのような勉強をしましたか

試験が小論文と面接の2つだったため、本や新聞、インターネット等を活用して専門知識を少しずつ身に付けていきました。それから過去問を何度も解き、試験に備えました。今は大学に入ってから苦労しないように英語など基礎学力の向上にむけて勉強しています。

Q3 大変だったことは

自分のペースを乱さないことです。私が受験するときクラスの約9割の人は進路が確定していたため、その中で周りに流されず自分のペースで勉強していくのは意外と大変でした。そのため明確な目標を立て、その目標を達成するためには強い意志が必要だと思いました。

Q4 合格のポイントは

部活動を通して様々な経験をしてきたことだと思います。また今年の夏休み、4年制の国公立大学進学を目指す生徒が集められ開催された「進学プロジェクト」に参加した際、他の学校の生徒との差を感じ「私はもっと頑張らなければならない」と刺激を受けました。このように同じ志を持っている同世代の人たちと勉強することで刺激を受け合格に繋がったのだと思います。

Q5 4年制大学進学を目指す後輩に一言

私たちが普段あたりまえに受けている授業や、実習また農業クラブ活動というのは、農業高校生だからこそ、体験できる強みだと思います。だから自信を持って様々な活動に参加し自分自身の可能性をどんどん広げていってください！！

Q6 大学卒業後の進路は

将来は地域交流・貢献活動を通して地域に貢献できる人材になりたいと考えています。しかし実際にどの職業に就きたいのかまでは決めていません。そのため大学でも様々な活動に積極的に参加し、自分に合った職業をじっくり見つけていきたいと考えています。